

国宝が大飯郡に里帰り
大飯郡建郡の歴史をこの目で

特別展

大飯郡

1200年

2025

10/18 土 ~ 11/16 日

国宝の展示は、10月26日（日）～11月1日（土）の期間

入館料:300円
(常設展示含む)

会 場：郷土史料館 1 階企画展示室

開館時間：午前 9 時から午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

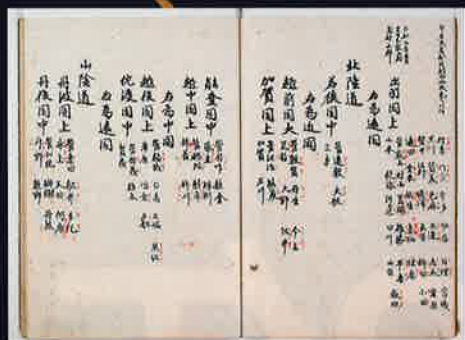
休 館 日：10/20, 10/27, 11/4, 11/10, 11/11

おい町立郷土史料館

若狭国は遠敷郡・三方郡の二郡でしたが、天長2年(825)に遠敷郡を割き「大飯郡」が建郡されました。

7世紀後半から8世紀にかけて、若狭国では塩の生産が増大し、調として都へ貢納されました。このことは、この時期の塩生産のための製塩遺跡数の増加や整然と配列された大型敷石炉と大きな製塩土器の出現が物語っています。大飯郡の建郡は、塩の生産やそれらに携わる人々の増加によって遠敷郡のみでの取り扱いが難しくなったことから成されたものと考えられます。

令和7年(2025)は大飯郡が建郡され1200年の年にあたります。本展では、大飯郡の成り立ちや近郊の郡との関係性について関連資料を展示し紹介します。



「延喜式民部上」
国立民俗歴史博物館蔵



「銀製帶金具」
独立行政法人国立文化財機構
奈良文化財研究所所蔵
出典：ColBase
(<https://colbase.nich.go.jp/>)



国宝「平城宮跡出土木簡」
独立行政法人国立文化財機構
奈良文化財研究所所蔵
出典：ColBase
(<https://colbase.nich.go.jp/>)

歴史講座 (参加無料)

2025年 **10月26日** 日 13時30分～

演 題 「飛鳥・奈良時代の塩生産～木簡と製塩土器からみた大飯～」

講 師 神野 恵氏

(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 展示公開活用研究室室長)

会 場 イベントホール 悠久館

おおい町総合運動公園内 (福井県大飯郡おおい町成和 2-1-1)

その他 定員 100名

(申込み不要ですが先着順となります)

おおい町立郷土史料館
松木庄吉美術記念館

〒919-2104 福井県大飯郡おおい町成和2-1-1
TEL: 0770-77-2820 FAX: 0770-77-2821

■ JR小浜線 若狭本郷駅下車徒歩15分

情報サイト



郷土史料館ホームページ



郷土史料館Instagram

青戸の入江

